

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	第46回日本神経精神薬理学会 ミニシンポジウム
演題名	知的障害と妊娠期における薬物暴露
発表者	○村上浩子
内容	<p>2016年7月2日に、韓国ソウル（COEX）において日本神経精神薬理学会が開催され、ミニシンポジウム「知的障害の研究 — 遺伝子・環境との関係—」において、村上博士研究員がこれまでの研究成果を発表した。内容は、妊娠期における薬物暴露が子供の脳発達に及ぼす影響について、これまで内野研究室で行った発達神経毒を胎児期に暴露させたマウスにおける分子発現解析や行動解析結果を紹介した。さらに、神経科学会との合同シンポジウム「脳科学から見た自閉スペクトラム症」において、内野教授が指定討論者として登壇した。本シンポジウムは、岡部先生（東大医学部）や内匠先生（理研脳科学センター）ら世界を代表する研究者によるものであり、自閉スペクトラム症の神経病態について極めて質の高い発表・討論であった。（写真は日本神経精神薬理学会ホームページより）</p>
関連画像	